



平成 22 年 5 月 14 日

各 位

会社名 アビリティ株式会社代表者 代表取締役社長 濱野 雅弘
(コード番号 6423 東証・大証第 1 部)問合せ先 取締役
責任者 管理本部長 原川 修一郎

T E L (06) - 6243 - 7770

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 12 月期第 1 四半期において、市場特別対策引当金（ゴト事案発生のため、以下同様）等を特別損失として計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 2 月 12 日に公表いたしました平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間及び通期における業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,300	130	60	60	1円 57 銭
今回修正予想 (B)	4,200	△900	△1,000	△1,300	△33円 08 銭
増減額 (B-A)	△2,100	△1,030	△1,060	△1,360	—
増減率 (%)	△33.3%	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期末績 (平成 21 年 12 月期第 2 四半期)	3,998	△921	△984	△1,249	△36円 13 銭

(2) 通 期（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	21,300	2,200	2,000	2,000	52円 44 銭
今回修正予想 (B)	21,300	2,200	2,000	1,700	42円 16 銭
増減額 (B-A)	—	—	—	△300	—
増減率 (%)	—	—	—	△15.0%	—
(参考) 前期実績 (平成 21 年 12 月期)	6,308	△2,966	△3,119	△5,123	△144円 98 銭

2. 平成22年12月期 個別業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,200	65	25	25	0円66銭
今回修正予想 (B)	4,100	△900	△1,000	△1,300	△33円08銭
増減額 (B-A)	△2,100	△965	△1,025	△1,325	—
増減率 (%)	△33.9%	—	—	—	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成21年12月期第2四半期)	3,851	△891	△917	△1,208	△34円96銭

(2) 通期（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	20,700	1,700	1,600	1,600	41円95銭
今回修正予想 (B)	20,700	1,700	1,600	1,300	32円24銭
増減額 (B-A)	—	—	—	△300	—
増減率 (%)	—	—	—	△18.8%	—
(参考) 前期実績 (平成21年12月期)	6,061	△2,805	△2,870	△4,840	△136円95銭

3. 特別損失の発生及びその内容

(1) 発生した金額

332百万円（連結・個別とも同額）

(2) 内容

平成20年12月より納品を開始いたしました当社パチスロ遊技機「鬼浜爆走紅蓮隊 爆音烈士編」につき、本年3月下旬にゴト事案が発生いたしました。

当社といたしましては、発生事実や原因の確認、調査、対策等を直ちに検討実施した結果、ゴト事案が発生したホール様への対応を検討し、ホール様からの要請に伴う対象機種のお取り換え、対象機種の下取りによるパチスロ新機種『コウヘイ最凶伝～地獄の閻魔覚醒の刻～』の購入支援サポート等を行うことといたしました。

以上により、市場特別対策引当金227百万円（連結・個別とも同額）等、332百万円（連結・個別とも同額）を、特別損失として計上することとなりました。

4. 修正の理由

(1) 平成22年12月期第2四半期累計期間（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

[連結]

パチスロ遊技機部門におきましては、平成22年2月上旬より納品開始しましたパチスロ新機種「鴉 - KARAS -」が概ね計画通り推移いたしました。

現在、本年6月6日納品予定のパチスロ新機種『コウヘイ最凶伝～地獄の閻魔覚醒の刻～』の営業活動を行っておりますが、上記に記載のとおり、「鬼浜爆走紅蓮隊 爆音烈士編」に関しまして、本年3月下旬にゴト事案が発生いたしました。これに関しまして、ホール様にご迷惑とご心配をおかけいたしました点お詫び申し上げますとともに、『コウヘイ最凶伝～地獄の閻魔覚醒の刻～』以降に発売の遊技機につきましては、信頼できる外部機関での検証等により、セキュリティ等の対策を既に実施していることを確認したため、当該ゴト事案による影響はない旨、営業部門並びに販売会社等を通じてご説明を行いました。

ただ、ホール様におかれましては、当該ゴト事案発生と当該機種の販売時期が近接している等の理由から今回導入の検討につき時間等を要することとなり、また、昨今の厳しい経営環境に伴うホール様の慎重な遊技機購買スタンスも相まったこと等から、当社といたしましては、本年6月中の完売を想定しておりました販売計画につきまして「ホール導入後の同機における稼動状況を見極めた後」という本年7月以降も視野に入れたロングテール型に変更することといたしました。

その結果、売上高は前回発表から2,100百万円減少し4,200百万円となる見込みであります。

また、利益面につきましては、前回発表から売上高が下回ることに伴いまして、営業利益が1,030百万円、経常利益が1,060百万円、それぞれ減少する見込みであり、さらに、上記3.に記載のとおり、特別損失として市場特別対策引当金等332百万円(個別も同額)を第1四半期に計上すること等を主要因として、当期純利益が前回発表から1,360百万円減少する見込みとなりました。

〔個別〕

上記、連結と同様の理由によるものであります。

(2) 平成22年12月期通期(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

〔連結〕

売上高、営業利益、経常利益につきましては、上記4.(1)に記載のとおり、『コウヘイ最凶伝～地獄の閻魔覚醒の刻～』の稼動に伴う本年7月以降の販売動向の見極め、また、下期投入予定の機種計画の練り直し(市場投入の前倒しや、万全を期すための来期への見送り等も含みます。)等も検討中ではありますが、現時点におきましては、平成22年2月12日に公表いたしました平成22年12月期(平成22年1月1日～平成22年12月31日)の業績予想から変更はございません。詳細につきましては判明次第、改めて開示を行う予定であります。

また、当期純利益につきましては、上記に記載のとおり、特別損失として市場特別対策引当金等332百万円(個別も同額)を第1四半期に計上すること等を主要因として、当期純利益が前回発表から300百万円減少する見込みとなりました。

〔個別〕

上記、連結と同様の理由によるものであります。

以上

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、業況の変化等により、この資料に記載されている予想と異なる場合があります。